

【86】趣味は乗馬！

自・社・さ連立政権の社会党の村山富市首相の下で、やはり社会党の野坂浩賢さん（あえて呼ばせて下さい）が建設大臣を務め、当時、社会的にも政治的にも大問題となっていた長良川河口堰の運用開始の決断をされました。

平成7年（1995）7月のことです。

私は、地方建設局長と河川局長とで一年半ほど野坂さんの下で働いたので、仕事のみならず、話をさせて頂く機会にも恵まれました。

ある時、大臣の趣味は何かとお尋ねすると、何と”乗馬”だと言われたのです。

意外な答えに、聞き誤りかと一瞬戸惑ったのですが、私の怪訝な顔を読まれてか、野坂さんは話を続けられました。

自分は戦争中は陸軍の砲兵で、日本は重い大砲を自動車ではなく馬で引張るから、砲兵は馬と仲良くしなければならなかったし、敗戦後は日本通運に就職したが、トラック不足で馬車が主役だったので馬とよくつきあった。

おかげで馬の気持ちが良くわかるし相性もいいんだとのお話です。

後に知ったところでは、野坂さんは日本通運の組合運動から県会議員を経て国政の道へ歩まれた方でした。

当時、野坂さんは足が不自由でしたし、実際に馬に乗られたという話も聞いたことが無かったので、付度させてもらおうと、馬への感謝の念と愛情の表現のため、気持の上での趣味として”趣味は乗馬”と言われているのでしょう。

案外、乗馬と社会党というイメージの対比に驚く私たちをからかっておられたのかも知れません。

30年経った今、野坂さんというと苦しかった仕事のことより、この話を思い出すので紹介させて頂く次第です。